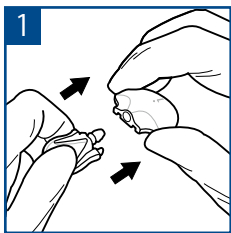


各患者が使用することによりレコーダを清浄および消毒する

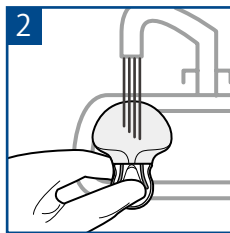
レコーダは複数の患者が使用することを想定している。レコーダは外してすぐに必ず清浄および消毒し、その後にドックステーションに接続する。ドックステーションは消毒することができない。

注意：

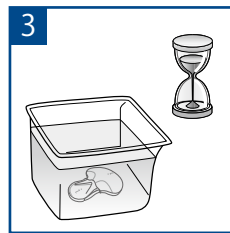
- レコーダのコネクタ接続部に体液が付着している場合はドックステーションに接続せずに、そのレコーダは廃棄する。(交差感染リスク回避のため)
- レコーダは医療廃棄物容器に廃棄せず、非焼却廃棄を行う(焼却時に機器破裂のおそれがある電池が内蔵されているため)



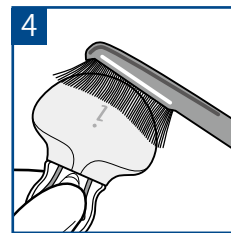
- レコーダにクリーニングプラグを取り付ける。
- 液体はコネクタを腐食させ、レコーダの性能に影響を及ぼすおそれがあるため、液体がレコーダのコネクタ接続部に触れないようにする。
- レコーダの損傷を防ぐため、クリーニングプラグをレコーダに取り付けた状態でねじらないように注意する。



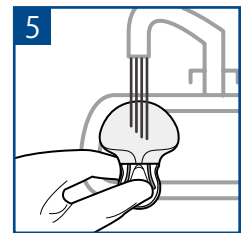
- レコーダを流水ですすぐ。(粘着剤が残っているときは、最初にそれを粘着剤リムーバで取り除く。)



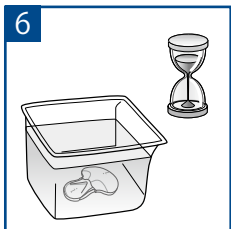
- サイdezaim® (海外販売名: Enzol® Enzymatic Detergent, ジョンソン・エンド・ジョンソン製) を準備し、専用のポンプで1プッシュのサイdezaim®を1Lの水で希釈し、レコーダを1分以上浸漬する。



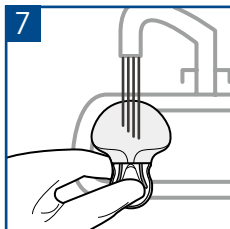
- クリーニングプラグを持ち、レコーダ表面の有機物が取り除かれるまでレコーダ表面を柔らかいブラシで清掃する。



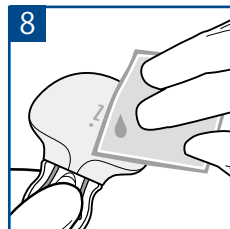
- レコーダを流水ですすぐ。
- レコーダ表面の液体を清潔な乾いた布で拭き取る。



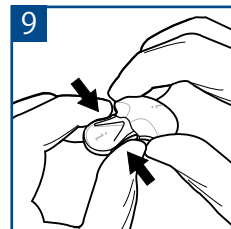
- 0.6%次亜塩素酸ナトリウム溶液にレコーダを30分浸漬する。(30分以上は浸漬しないように注意する。)



- レコーダを流水で3分以上すすぐ。



- レコーダを70%イソプロピルアルコールで拭く。



- 両端のつまみをつまんでクリーニングプラグを取り外す。
- レコーダを乾いた毛落ちしない布の上に置いて乾燥させる。

注意：クリーニングプラグのOリング部分を清浄しないこと。クリーニングプラグのOリングには、レコーダとの間を防水するために潤滑剤が付いており、この潤滑剤は30回程度の使用で無くなる。そのため、クリーニングプラグは30回使用したら廃棄する。

注意：レコーダをCGMS-Goldの青色のテストプラグに接続しない。